

平成 21 年 6 月 29 日

報道関係各位

第一弾！認知症向け海外療養プログラム 会員制にて、2009 年 6 月開始！

認知症(主に軽度認知障害)を対象とした、会員制海外療養プログラム。まずは台湾より開始いたします。

株式会社リエイ(本社:千葉県浦安市、代表取締役社長 梶澤一)は、認知症予防、認知症リスクの軽減に関心がある一般の方々向けに「海外療養体験プログラム」を本格始動します。今回のプログラムは、保険外の療養サービスとして、海外での各種療養情報、プログラムの提供など、認知症患者や家族に対して選択肢を拓けるものとなります。

【プログラムの特徴】

- ・日本では使用できない認可薬及び独自処方等、多彩な選択肢を含めた各種情報の提供。
- ・日本のTOP医療機関と遜色の無い、現地医療機関のご紹介及び日本サイド(会員様の主治医)とのカルテの情報連携。
- ・ホスピタリティ溢れる現地医療関係者と提携滞在先共同による療養プログラム提供。

【企画背景】

日本は皆保険下、先進医療を受けられる国として一定評価がある一方、「医療崩壊」が連呼される国でもあります。医師の過酷な労働条件下、結果、一人一人の患者に割くべき診察内容や品質が問われています。また、臨床試験の長期化より、海外で長年認められている医薬品を選択できない分野が存在しています。

当社は介護総合サービスを運営している中で、「従来型の介護予防やケア」以上に、多くの方々が「より良い処置、処方や、グローバルな環境下での最新かつ有益な情報を欲している」ことを実感、本プログラムを開始いたします。

第一弾は、台湾。今後、タイ(8月開始予定)、フィリピン(9月開始予定)など、アジアネットワークを拓けて行く予定。

【プログラム概要】公式HP <http://www.riei.co.jp/ghp/>

実施国:台湾

ご紹介先:長庚記念医院(総ベッド数 8800 床を誇る台湾最大の私立病院)

ミッションケア(医療機関、介護施設など 9 施設を展開する桃園県内最大の私立病院)

システム:会員制度/入会金:20 万円・年会費:24 万円(1 年契約、消費税別途)

- ①本プログラム会員制度への入会后、海外でも療養、医療詳細情報を提供いたします。
- ②概往歴を含めた診療履歴を開示頂き、日本と海外現地両方で情報を共有できるシステムへ登録します。
- ③渡航希望先医療機関で、最新画像診断機器(PET/CT)による診断、現地医師による診断、処方を行います。

【会社概要】

商号:株式会社リエイ 代表取締役 梶澤 一

所在地:〒279-0012 千葉県浦安市入船 1-5-2 新浦安センタービルディング 14・15F

設立:昭和 55 年 7 月 資本金:1 億 350 万円/年商:64 億 7500 万円(2008 年度)

事業内容:企業福利厚生サービス事業・介護総合サービス事業

【報道関係お問合せ先】(株)リエイ 広報担当:大島 TEL:047-355-4721 e-mail:k-ooshima@riei.co.jp

【サービス内容に関するお問合せ先】海外療養プログラム事務局 担当:田中・渡辺 TEL:047-355-8187

e-mail: info-ghp@riei.co.jp 株式会社リエイホームページ: <http://www.riei.co.jp>

平成 21 年 6 月 29 日

リリース資料

【プログラムに関する備考として】

- ①現地医療機関より診断証明書及び領収書を発行。確定申告時の「医療費控除対象」となります
http://www.mykomon.jp/kakutei_iryohi/NORE-5764ZN.htm(MyKomon 会計事務所の会)
- ②現地医療機関での処方箋に基づいた医薬品の個人輸入(一ヵ月分以内)は、厚生労働省より認められています。<http://www.mhlw.go.jp/topics/0104/tp0401-1.html>(平成 20 年 5 月更新。厚生労働省医薬食品局)

【認知症は高齢者の最も心配な病気の一つです】

200 万人の認知症患者がいると言われている日本では、年々認知症への関心が高まってきております。昨年 11 月に某女優ご夫妻の姿がドキュメンタリー番組として放映され、大きな反響を呼んだこともあり、一昔のような「認知症＝隠すべき症状」ではなく「病気」であり、今は進行を抑制する薬も存在しており早期予防が重要である、との意識も広がってきております。

千葉県浦安市が 2008 年 3 月に公表した「一般高齢者(65 歳以上)に関する調査結果」では、「心配な病名として 16.3%(219 人)が認知症」を挙げ、また「健康について知りたいこととして(がんの次に)403 名(29.9%)が認知症予防」を挙げていることから関心の高さが伺えます。又、東京都福祉保健局が 2008 年 8 月に公表した「東京都若年性認知症生活実態調査」では、「若年性認知症の発症後に仕事を辞めた方が 75.6%にも及んでいる」という厳しい現実が待っている病気でもあります。

【台湾の認知症治療、介護実態に着目】

この認知症の約 50%はアルツハイマーが原因とされていますが、日本国内では抗アルツハイマー薬は 1 種類(1999 年認可)しか認可されていません。一方、米国食品医薬品局(FDA)認可の抗アルツハイマー薬は 4 種類、アジア近隣諸国も 4 種類以上の認可薬が存在し、台湾でも認知症認可薬 5 種類、そして中医(所謂「漢方」六味地黄丸の処方が多いとのこと)での処方が一般化しております。

介護士につきましても台湾では 1992 年より外国人介護士を受け入れ、現在介護士(主に個人宅への住み込み)として入国、勤務されている人数は約 16 万人(台湾総人口 2,300 万人中 0.7%を占める)と貴重な戦力になっております。

■株式会社リエイについて

リエイは 1980 年の設立以来「人による人への生活サポート」を基本理念に事業展開をして参りました。主事業は「企業単身寮の給食や建物管理等の生活サービス」及び「介護総合サービス」です。現在企業単身寮の受託数は全国で約 350 箇所、介護施設は関東、関西圏に 17 箇所となっています。海外展開につきましては 2002 年よりタイでのロングステイビジネスに進出し、タイ人介護士育成等を経て、現在タイ、台湾、フィリピン、中国等のアジア近隣諸国での介護(予防)サービス、介護士人材育成に取り組んでおります。